

重点目標一覧表

|       |       |
|-------|-------|
| 担当部局名 | 産業振興部 |
|-------|-------|

【令和5年度重点目標】

| 重点目標  | 活力ある商工業で創る賑わいのまちの推進  |
|---|--|
| 具体的な重点取組項目（箇条書き）  |  |
| 達成状況・達成度  |  |
| ① 物価高など予測困難で変化の激しい時代における事業者支援<br>(1) 物価高・原材料高に対する事業者への支援金等<br>(2) 多様な働き方推進につながる創業支援等<br>(1) 商工会議所・ARECと連携した創業支援<br>(2) 多様な働き方推進につながる支援<br>(3) 企業誘致型ワーケーションの推進<br>(4) 女性活躍推進のための伴走事業 | ① 消費喚起応援事業第6弾等の実施<br>②<br>(1) 相談件数 361件<br>(2) 支援件数 28件<br>(3) 支援件数 5件（14社20名）<br>(4) セミナー受講者数 延べ391人  |
| ③ 企業誘致・留置の推進<br>(1) 第二期箱置工業団地の早期売却<br>(2) 地域未来投資促進法に基づく計画の策定  | ③<br>(1) 譲渡完了（11/7）<br>(2) 策定完了（12/26国同意）  |
| ④ 産業活性化等の取組推進<br>(1) 地方創生実践プラットフォーム事業によるプロジェクト推進<br>(2) 産業・DX人材の育成支援<br>(3) 生産性向上投資の促進支援  | ④<br>(1) プロジェクト創出 5件<br>(2) DX人材育成講座（延55回・延1,000人超参加）<br>(3) 支援件数：2件   |
| ⑤ 賑わいと活力ある商業の推進及び上田ブランドの創造<br>(1) デジタルコミュニティ通貨実証実験の推進<br><br>(2) UEDA Nerima BASEにおける物販推進及び練馬と上田との繋がりがづくり<br>(3) 市街地商業活性化に向けた調査、研究<br><br>(4) 商店街と連携した池波正太郎生誕100年・開館25周年記念事業の実施     | ⑤<br>(1) ユーザー数：4,554人、スポット数：152件 [3/31実証実験終了]<br>(2) 販売額前年比 90.7%増<br>イベント等の出店 15回<br>(3) ・空き店舗調査4回<br>・検討会議4回<br><br>(4) 企画展3回、特別講座4回、商店街と連携した「まちなか真田太平記」展を開催 |

【令和6年度重点目標】

| 重点目標   | 賑わいと活力ある商工業の振興  |
|--|---|
| 具体的な重点取組項目（箇条書き）   |   |
| 期限・数値目標等   |   |
| ① 物価高など予測困難で変化の激しい時代における事業者支援<br>(1) 物価高・原材料高に対する事業者への支援策<br>(2) 多様な働き方推進につながる創業支援等<br>(1) 商工会議所・ARECと連携した創業支援<br>(2) 多様な働き方推進につながる支援<br>(3) 企業誘致型ワーケーションの推進<br>(4) 女性活躍推進のための伴走事業 | ①<br>(1) 国・県の動向等踏まえ検討<br>②<br>(1) 相談件数 300件<br>(2) 支援件数 20件<br>(3) 実践企業数 10社<br>(4) セミナー受講者数 延べ300人                                 |
| ③ 企業誘致・留置の推進<br>(1) 地域未来投資促進法に基づく第二期上田地域基本計画の推進<br>(2) 企業誘致・留置に係る新たな支援策の検討   | ③<br>(1) 重点促進区域への企業誘致推進<br>(2) 先進事例等の情報取得・研究推進  |
| ④ 産業活性化等の取組推進<br>(1) 地方創生実践プラットフォーム事業によるプロジェクト推進<br>(2) 産業・DX人材の育成支援<br>(3) 生産性向上投資の促進支援   | ④<br>(1) プロジェクト新規創出 2件<br>(2) 研修受講者 延べ1,000人<br>(3) 支援件数 6件   |
| ⑤ 賑わいと活力ある商業の推進及び上田ブランドの創造<br>(1) UEDA Nerima BASEの存続検討及び物販推進、練馬区との連携の維持・強化<br><br>(2) 中心市街地活性化につながる事業・活動の支援<br><br>(3) 『真田太平記』50周年を記念した企画展、文学散歩の実施、商店街イベントの開催支援                   | ⑤<br>(1) 令和7年度以降の存続検討<br>販売額前年比 10%増<br>イベント等の出店 15回以上<br><br>(2) ・新規出店補助6件<br>・相談対応10件<br>・新規イベント支援4件<br><br>(3) 記念企画展1回<br>文学散歩3回 |

重点目標 誇れる上田を農でつなぐ～人・農地プラン、地産地消・地産外商の推進～

| 具体的な重点取組項目（箇条書き）  |   |
|---|---|
| 達成状況・達成度  |   |
| ① 地産地消・地産外商の機運を醸成する取組<br>(1) 直売所間の連携による新たな取組の実施と検討<br><br>(2) 姉妹都市等との農産物交流の充実<br>(3) 官民連携による新たな食文化（発酵のまち、ワインのまち）の醸成<br>(4) 農工商連携による地元農産物の活用の取組<br>(5) 上田産食材を活用した食農教育の推進<br>(6) SNSを活用した情報発信 | ①<br>(1) 食の安心認定プログラムへの取組（7直売所）、共同開発商品のPR<br>(2) 新規取組 3件<br>(3) 新規取組 4件<br><br>(4) 交流のマルシェの開催支援<br>(5) 企画給食の実施 7回<br>(6) 旬野菜等の情報発信（投稿数72回） |
| ② 地域計画策定の取組<br>(1) 現行の実質化された「人・農地プラン」の見直し<br><br>(2) 策定にむけた各関係機関との調整<br><br>(3) 策定にむけた集落懇談会の開催  | ②<br>(1) 各地区における中心となる農業担い手の見直し作業実施 1回<br>(2) 農業委員会、JAとの打合せ会議（塩田地区）実施 2回<br>(3) 塩田地区、真田地区での集落懇談会実施 各1回                                     |
| ③ 次代へつなぐスマート農業の拠点づくり<br>(1) 農業バイオセンターを活用したスマート農業の実証実施と担い手の育成<br>(2) スマート農業を活用した新規就農者の育成<br><br>(3) スマート農業の普及・啓発の推進  | ③<br>(1) AI選果システム構築に向けたデータ取込み作業の実施 2回<br>(2) 果樹の作業工程動画の収録、作成 6回<br>(3) 市内若手農業者向けの研修会の実施 1回  |
| ④ 都市農村交流の推進<br>(1) 稲倉棚田オーナーの受入<br>(2) 稲倉棚田を拠点とした農工商連携<br>(3) 稲倉の棚田保全委員会が行うクラインガルテン利用者との都市農村交流事業への支援<br>(4) りんごオーナーの受入   | ④<br>(1) 都市農村交流事業への支援 12回<br>(2) 酒米オーナー等の実施ほか<br>(3) イベント開催支援 4回  |
| ⑤ 遊休農地の解消に向けた取組<br>(1) 遊休農地解消に向けた取組の推進<br>(2) 農業委員用タブレット端末の有効活用を図る取組の実施   | ⑤<br>(1) 遊休農地解消面積 17.4ha<br>(2) 農業委員向け研修会開催 9回ほか  |

重点目標 誇れる上田を農でつなぐ～地域計画、地産地消・地産外商の推進～

| 具体的な重点取組項目（箇条書き）   |   |
|--|---|
| 期限・数値目標等   |   |
| ① 地域計画の策定（市内6地区）<br>(1) 策定に向けた集落懇談会の開催<br><br>(2) 地域計画策定に係る協議、調整   | ①<br>(1) 市内6地区での集落懇談会の各地区2回（12月末まで）<br>(2) 農業委員会、JA等関係機関との協議、調整（年度末まで）                          |
| ② 地産地消・地産外商の機運を醸成する取組<br>(1) 「発酵のまち」をテーマとした地元農産物・加工品のPR<br><br>(2) 農工商連携による農産物の地産地消の推進<br><br>(3) 上田産食材を活用した食農教育の推進  | ②<br>(1) PRIイベントの実施、支援 2回（年度末まで）<br>(2) 直売所と飲食店のマッチング等 2回（年度末まで）<br>(3) 企画給食の実施 6回程度（年度末まで）     |
| ③ 次代につなぐスマート農業の推進<br>(1) AIを活用した選果システムの構築に向けた取組<br><br>(2) 栽培環境データを活用した農業の実践に向けた取組<br><br>(3) 担い手等の育成に向けた遠隔営農指導体制の構築 | ③<br>(1) データ取得及び活用検討 2回（年度末まで）<br>(2) 栽培環境データの活用検討会の開催 2回（年度末まで）<br>(3) 遠隔営農指導の実施及び検証 5回（年度末まで） |
| ④ 都市農村交流の推進<br>(1) 第29回全国棚田（千枚田）サミットの開催<br><br>(2) 稲倉棚田オーナー制度支援<br><br>(3) クラインガルテン利用者と地域住民の交流事業への支援                 | ④<br>(1) 棚田サミットの開催（10/17～18）<br><br>(2) 都市農村交流事業への支援 8回（年度末まで）<br>(3) 交流イベントへの支援 3回（年度末まで）      |
| ⑤ 農地の適正利用に向けた取組<br>(1) 遊休農地解消に向けた取組の推進<br><br>(2) 農地保全の重要性を伝える啓発活動の実施  | ⑤<br>(1) 遊休農地の解消 約20ha（年度末まで）<br>(2) 市広報、HP等を通じたPRの実施（年度末まで）                                    |

重点目標 豊かな森林（もり）の環境整備と地域資源の有効活用

| 具体的な重点取組項目（箇条書き）   |   |
|--|---|
| 達成状況・達成度   |   |
| ① 森林環境保全整備事業（県事業）及び森林環境譲与税を活用した森林づくり<br>(1) 事業主体（JF等）への1/10以内の高上げ補助を行う<br><br>(2) 森林経営管理制度事業の経営管理権集積計画を策定し、事業の推進を図る                                    | ①<br>(1) 44% 間伐、下刈り等66ha<br>森林づくり県民税事業拡充に伴う<br>高上げ補助の減少<br>(2) 80% 境界推測図の作成 1地区   |
| ② 被害量減少に対応した松くい虫防除対策事業の推進<br>(1) 伐倒駆除事業の実施（国・県の補助事業）<br>(2) 予防対策として樹幹注入剤の支給<br>(3) 激害地等における樹種転換事業の推進<br><br>(4) 松くい虫被害量把握のためのドローン空撮による計測・解析業務にかかる検証の実施 | ②<br>(1) 66% 1,200㎡ 被害量の減少による<br>(2) 98% 6,900本支給<br>(3) 52% 24.82ha実施 崩落危険箇所があり、計画を見直したため<br>(4) 検証済（検証の結果、費用対効果の面から継続は困難） |
| ③ 市有林整備と資源の有効活用<br>(1) 市有林の撤出間伐や下刈等の森林整備を実施し、用材としての活用を図る<br>(2) 松くい虫被害による枯損木等を伐採・搬出し、バイオマス燃料としての活用を図る  | ③<br>(1) 84% 8.19ha実施<br>(2) 160% 1.6ha実施   |
| ④ 先端技術等を活用した有害鳥獣対策事業の推進<br>(1) 地元で原材料を支給し、地域住民協働による侵入防止柵の設置を図る<br>(2) 鳥獣捕獲先端技術導入事業（わなセンサー導入事業）を実施し、捕獲者の負担軽減を目指す<br>(3) わなセンサーメール発報システムの開発・検証           | ④<br>(1) 68% 2.4km・7地区に支給（柵資材の価格が高騰したため）<br>(2) 100% 45台新規購入<br>(3) 中継器（菅平）設置・検証済   |
| ⑤ ジビエ振興及び野生鳥獣商品化研究事業の推進<br>(1) 鳥獣の有効活用に向け調査・研究及び先進地視察等を行い、ジビエ処理加工施設の可能性を研究する<br>(2) ニホンジカを小諸ペットフード加工施設で製品化、販売までの事業展開をしジビエ振興策を検討する<br>(3) ペットフード販路の拡大   | ⑤<br>(1) 視察（小諸）・ジビエ振興イベント（菅平）を各1回実施<br>(2) 100% ニホンジカ加工 10頭<br>ペットフード化 500袋<br>(3) 販売先の拡大 2件                                |

重点目標 豊かな森林（もり）の環境整備と地域資源の有効活用

| 具体的な重点取組項目（箇条書き）  |  |
|---|--|
| 期限・数値目標等  |  |
| ① 森林環境保全整備事業（県事業）及び森林環境譲与税を活用した森林づくり<br>(1) 人工造林及び下刈りを行い将来にわたり持続可能な森林整備の推進<br>(2) 森林経営管理制度事業の経営管理権集積計画の策定等による事業の推進<br>(3) 自治会等による里山整備事業の啓発と普及促進 | ①<br>(1) 年度末まで・2.9ha<br>(2) 年度末まで・集積計画策定、境界推測図作成 各1地区<br>(3) 年度末まで・団体数 8団体 |
| ② 被害量減少に対応した松くい虫防除対策事業の推進<br>(1) 伐倒駆除事業の実施（国・県の補助事業）<br>(2) 予防対策として樹幹注入剤の支給<br>(3) 激害地等における樹種転換事業の推進  | ②<br>(1) 年度末まで・1,200㎡<br>(2) 年度末まで・7,000本<br>(3) 年度末まで・20.6ha              |
| ③ 市有林整備と資源の有効活用<br>(1) 市有林の撤出間伐や下刈等の森林整備を実施し、用材としての活用を図る<br>(2) 松くい虫被害による枯損木等を伐採・搬出し、バイオマス燃料としての活用を図る   | ③<br>(1) 年度末まで・8.0ha<br>(2) 年度末まで・1.0ha                                    |
| ④ 先端技術等を活用した有害鳥獣対策事業の推進<br>(1) 鳥獣捕獲先端技術導入事業（わなセンサー導入事業）を実施し、捕獲者の負担軽減を目指す  | ④<br>(1) 年度末まで・センサー130台運用（うち新規30台）   |
| ⑤ 新たな林業の担い手の確保と育成<br>(1) 新規就業者の確保育成事業の検討とインターン受入に向けた取組<br>(2) 林業就業者の定着支援施策（補助制度）の検討   | ⑤<br>(1) 年度末まで・インターン受入 1回以上<br>(2) 年度末まで・検討協議 3回                           |
| ⑥ 森林由来CO2吸収量認証制度の活用に向けた検討<br>(1) 市有林等をCO2吸収源とした森林由来のJ-クレジット創出に向けた調査・研究  | ⑥<br>(1) 年度末まで・CO2認証対象森林の抽出 1箇所  |

# 重点目標一覧表

|       |       |
|-------|-------|
| 担当部局名 | 産業振興部 |
|-------|-------|

## 【令和5年度重点目標】

| 重点目標 | 持続可能な農業構造の実現と地域協働活動への支援   |  |
|------|---|--|
|      | 具体的な重点取組項目（箇条書き）  | 達成状況・達成度   |
| 4    | ① 農業用水利施設整備による防災減災対策の推進及びスマート農業による省力化<br>(1) 水路整備 9地区<br><br>(2) 水門改修 1地区<br>② 多面的機能支払交付金事業の拡充<br>(1) 既存及び新規組織の活動支援<br><br>(2) 取組組織の持続力強化<br><br>③ 基幹的水利施設の長寿命化<br>(1) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・上田農水頭首工地区の護岸工事実施<br>(2) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・新屋堰地区の工事実施<br>(3) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・塩川地区の工事実施<br>(4) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・窪堰地区の工事実施 | ①<br>(1) 水路設計委託3件、工事3箇所完了<br>水路工事1箇所契約済<br>(2) 水門委託1件完了、工事1箇所契約済<br>②<br>(1) 個別相談会の実施 64回<br>広域64組織、単組6組織<br>全組織へ中間確認の実施<br>新規組織向けの説明会<br>(2) 取組組織間の連携強化<br>広域・単組組織の交流会実施<br>③<br>(1) 工事契約済<br>(2) 工事完了<br>(3) 工事完了<br>(4) 工事契約済 |

## 【令和6年度重点目標】

| 重点目標 | 持続可能な農業構造の実現と地域協働活動への支援   |  |
|------|---|--|
|      | 具体的な重点取組項目（箇条書き）  | 期限・数値目標等   |
| 4    | ① 基幹的水利施設の長寿命化<br>(1) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・上田農水頭首工地区の護岸工事実施<br>(2) 団体営農業用水路等長寿命化・防災減災事業・窪堰地区の工事実施<br>(3) 団体営農村地域等長寿命化・防災減災事業・計画概要作成業務委託 4件<br><br>② 農業用水利施設整備による防災減災対策の推進及びスマート農業による省力化<br>(1) 水路整備 6箇所<br>(2) 水門改修委託 1件<br>(3) ため池浚渫 4箇所<br><br>③ 多面的機能支払交付金事業の推進<br>(1) 新規団体の設立支援 | ①<br>(1) 護岸改修工事に伴う本復旧工事の年度内完了<br>(2) 水路改修工事の年度内完了<br>(3) 計画概要作成業務委託3件の年度内完了<br>②<br>(1) 水路整備工事4箇所の年度内完了<br>(2) 水門改修委託1件の年度内完了<br>(3) ため池浚渫2箇所の年度内完了<br>③<br>(1) 広域64団体から65団体 |

## 重点目標 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援

|   | 具体的な重点取組項目（箇条書き）   | 達成状況・達成度   |
|---|--|--|
| 5 | ① 労働福祉施設の在り方検討<br>(1) 勤労者福祉センターの在り方検討<br>② 就労サポートセンター(上田市版ハローワーク)事業の推進<br>(1) 就職・労働相談及び無料職業紹介の実施<br>(2) 地域雇用情勢の把握及び情報提供<br>(3) 求職者スキルアップと企業の人材育成支援<br>③ U I J ターン就職、移住定住の促進<br>(1) 移住交流推進課、民間人材派遣会社と連携したU I J ターン就職支援<br>④ 若年者の地域企業就職促進<br>(1) 関係機関と連携した学生と地域企業とのマッチング強化<br>(2) 民間人材派遣会社、若者サポートステーション・シナノと連携した若年者自立・就職支援<br>(3) 学生等地域企業就職促進奨学金支援事業の普及<br>⑤ 産学官連携によるキャリア教育の推進<br>(1) 高校・大学と地域企業による連携事業の構築<br>(2) 義務教育期におけるキャリア教育の充実 | ①<br>(1) 地元関係者等と協議継続<br>②<br>(1) 相談及び無料職業紹介:138件<br>(2) 事業所訪問:143件<br>(3) 支援セミナー実施<br>③<br>(1) 相談者数:218件<br>地域企業への就職者数:12人<br>④<br>(1) 就活フェア等開催:4回<br>(2) 相談者数:440件<br>自立及び就職者数:38人<br>(3) 対象者:9人<br>⑤<br>(1) 企業との交流会開催:1回<br>(2) 親子会社見学会:1回 |

## 重点目標 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援

|   | 具体的な重点取組項目（箇条書き）   | 期限・数値目標等  |
|---|--|---|
| 5 | ① 労働福祉施設の在り方検討<br>(1) 勤労者福祉センターの在り方検討<br>② 就労サポートセンター(上田市版ハローワーク)事業の推進<br>(1) 就職・労働相談及び無料職業紹介の実施<br>(2) 地域雇用情勢の把握及び情報提供<br>(3) 求職者スキルアップと企業の人材育成支援<br>③ U I J ターン就職、移住定住の促進<br>(1) 移住交流推進課、民間人材派遣会社と連携したU I J ターン就職支援<br>④ 若年者の地域企業就職促進<br>(1) 関係機関と連携した学生と地域企業とのマッチング強化<br>(2) 民間人材派遣会社、若者サポートステーション・シナノと連携した若年者自立・就職支援<br>(3) 学生等地域企業就職促進奨学金支援事業の普及<br>⑤ 産学官連携によるキャリア教育の推進<br>(1) 高校・大学と地域企業による連携事業の構築<br>(2) 義務教育期におけるキャリア教育の充実 | ①<br>(1) 関係者等と協議<br>②<br>(1) 相談及び無料職業紹介:120件<br>(2) 事業所訪問:300件<br>(3) セミナー等受講者:300人<br>③<br>(1) 相談者数:250件<br>地域企業への就職者数:15人<br>④<br>(1) 大学生等対象説明会等:150人<br>(2) 相談者数:450件<br>自立及び就職者数:40人<br>(3) 対象者:15人<br>⑤<br>(1) 企業との交流会開催:1回<br>(2) 親子会社見学会:60人 |